

顧客要望に合った産業用ロボットの企画・提案から 設計・製造・運用管理までを一貫して提供

産業用ロボットのシステムインテグレータ企業。顧客企業の現状分析から企画提案、設計・シミュレーション、製造・据付・調整、ロボットへの動作ティーチング、運用、保守点検・管理までを一貫したサービスとして提供できる。取り扱うロボットや設計・シミュレーション用ソフトなどは特定メーカーのものに限定せず、さまざまなロボットメーカーに対応できることが強みの1つである。また、海外案件についても対応が可能であり、海外へのシステムの設置・導入実績を多数有する。

所在地 愛知県豊明市間米町森前93番地の3
電話/FAX 0562-93-3445/0562-57-1130
URL <https://www.unimec.co.jp>
代表者 代表取締役 飯田 典寛

設立 1995年
資本金 1,000万円
従業員数 38人



従業員の多能工化によりサービスの一貫提供を実現して付加価値向上

競合他社の多くは、部門別に専門知識を有する従業員を配し、顧客対応している。一方、同社では、自動制御装置、検査装置および自動機設備の設計・製造ならびに電気配線工事などのすべての業務に精通した多能工従業員の育成に注力している。現在は、勤務年数15年以上の従業員3名が、多能工として突発的な発注やメンテナンスの引合いなどにも小回りの利いた迅速対応をしており、顧客への付加価値提供と競合との差別化につながっている。多能工の育成には時間を要するが、継続して取り組む。



多能工が活躍するロボット開発職場

大学等との連携により最新技術動向をキャッチして未来を先取り

同社は、技術開発を行うための新たな視点や独創的発想のきっかけを得るために、大学との連携や国の外郭団体などの施策活用に取り組んでいる。たとえば、日本工業大学機械工学科・中京大学情報科学研究科との産学連携や、(公財)科学技術交流財団の地域研究開発促進拠点支援事業 RSP 育成試験や NEDO の次世代ロボット実用化プロジェクトへの参加などがある。先端技術開発に関わるさまざまな分野の社外組織と積極的に交流・協業することを通じて、未来を先取りする情報について議論・情報交換している。



未来を先取りする先端技術との交流

IT活用と人材育成により情報共有を加速、業務を効率化

工場は、大府市(愛知県)と各務原市(岐阜県)の2カ所に分散している。震災・豪雨発生時などに集中被災して業務が完全停止するリスクは低減されるが、全従業員への情報伝達は遅かった。そこで、社内 SNS を導入し、各工場内および本社・工場間の従業員どうしの情報共有速度を向上させ、業務処理や職場環境改善の効率化につなげている。また、若者・女性・外国人が多く約3分の1が文系出身である多様な構成の従業員に対する人材育成にも力を入れており、社内外の研修や先輩従業員によるOJTを実施している。



多様な人材が活躍する活気溢れる職場